

PCT NEWSLETTER

–日本語抄訳– 2017年10月号 | No. 10/2017

日本語抄訳は、PCT NEWSLETTER（英語版）（www.wipo.int/pct/en/newslett）の概略が理解できるように、PCT NEWSLETTER（英語版）に記載の全項目と、その項目における重要な点を日本語に翻訳しています。詳細は英語版をご参照下さい。また、翻訳の過程で不正確な記載が生じている場合には、全て英語版に記載されたものが優先します。

日本国特許庁主催の実務者向け知的財産権制度説明会において、PCTに関する最新のトピックスをご紹介します。事前のお申し込みは必要ですが**無料**ですので是非ご参加ください。（申込：<https://www.jit2017.go.jp/index.html>）

PCT同盟総会

WIPO加盟国総会の一部として、第49回PCT同盟総会（PCT総会）が2017年10月2日から11日までの期間、ジュネーブにて開催されました。以下の会合の概要において参照される文書（利用可能になればその報告書を含む）は、下記リンク先のWIPOウェブサイトに掲載されています。

http://www.wipo.int/meetings/en/details.jsp?meeting_code=pct/a/49

本総会は、フィリピン知的所有権庁をPCTにおける国際調査機関及び国際予備審査機関として選定しました（文書PCT/A/49/3）。この選定は、当該官庁が運用を開始する準備ができたことを通知する将来の日付から有効になります。

また本総会は、PCTにおける既存の国際調査機関及び国際予備審査機関の選定を、2027年12月31日まで延長しました（文書PCT/A/49/2）。

本総会は、文書PCT/A/49/4の附属書に記載された、PCT規則の改正を採択しました。改正内容は以下のとおりです：

- PCT規則4.1(b)(ii)及び41.2(b)：第47回（2015年10月開催）及び第48回PCT総会（2016年10月開催）にてそれぞれ採択された規則12の2及び23の2の改正の結果として、参照番号が修正されました。詳細は、文書PCT/WG/10/5をご参照ください。
(http://www.wipo.int/meetings/en/details.jsp?meeting_code=pct/wg/10)
- PCT手数料表：手数料表の項目5における90%の手数料減額は、減額の適格性を有しない者又は企業に代わって国際出願を提出する者ではなく、自らの権利として国際出願を提出する者のみを対象としていることが明確化されました。詳細は、文書PCT/WG/10/8をご参照ください。(http://www.wipo.int/meetings/en/details.jsp?meeting_code=pct/wg/10)

これらの改正は2018年7月1日から発効します。

また、手数料表の項目5における当該減額は、願書に表示された出願人が、その出願の単独かつ真の所有者であり、手数料の減額の適格性を有しない他の者に対して、発明に係る権利を譲渡、付与、移転又はライセンスする義務がない場合にのみ適用されることが意図されたものであるという了解（Understanding）も採択しました。当該了解は2017年10月11日に発効しました。

本総会はまた、PCT作業部会(文書 PCT/A/49/1)により実施された作業に関する報告に留意し、さらなる作業についての勧告を承認しました。これらの事項はPCT Newsletter 2017年5月号で報告されています。

PCT – 特許審査ハイウェイ (PCT-PPH) 試行プログラム

新しい二方向 PCT-PPH 試行プログラム (カナダ知的所有権庁—国立工業所有権機関 (チリ))

2017年1月6日から、カナダ知的所有権庁と国立工業所有権機関 (チリ) 間で、新しい二方向 PCT-PPH 試行プログラムが開始しました。本試行プログラムでは、ISA/IPEA としての資格において一方の官庁が作成する、国際調査機関 (ISA) 又は国際予備審査機関 (IPEA) からの肯定的な見解書、若しくは肯定的な特許性に関する国際予備報告 (IPRP) (第 II 章) (すなわち、特許性ありと判断された請求項が少なくとも一つ存在する場合) を得た PCT 出願に基づき、他庁の国内段階で早期審査を利用することが可能になります。

上述の PCT-PPH の合意に関する詳細は、それぞれ以下のリンク先をご覧ください。

<http://www.ic.gc.ca/eic/site/cipointernet-internetopic.nsf/eng/wr04166.html>

<http://www.inapi.cl/portal/prensa/607/w3-article-10078.html>

新しい一方向 PCT-PPH 試行プログラム (オーストリア特許庁—メキシコ工業所有権機関、欧州特許庁—ユーラシア特許庁)

オーストリア特許庁とメキシコ工業所有権機関間 (2016年12月1日から) 及び欧州特許庁 (EPO) とユーラシア特許庁間 (2017年10月1日から) で、新しい一方向 PCT-PPH 試行プログラムが開始しました。

本試行プログラムでは、ISA/IPEAとしての資格において一方の官庁が作成する、国際調査機関 (ISA) 又は国際予備審査機関 (IPEA) からの肯定的な見解書、若しくは肯定的な特許性に関する国際予備報告 (IPRP) (第II章) (すなわち、特許性ありと判断された請求項が少なくとも一つ存在する場合) を得たPCT出願に基づき、他庁に対し、場合によって、国内/広域段階で早期審査を利用することが可能になります。

上述の PCT-PPH の合意に関する詳細は、以下のリンク先をご覧ください。

https://www.gob.mx/cms/uploads/attachment/file/181733/PPH_IMPI_APO.pdf

<http://www.epo.org/law-practice/legal-texts/official-journal/2017/09/a77.html>

<http://www.eapo.org/en/news.php?newsview=view&d=649>

PCT 最新情報

AL : アルバニア (仮保護、優先権の回復に適用される基準、手数料)

FI : フィンランド (あて名、電話とファックス番号)

KZ : カザフスタン (国の安全に関する要件)

LA : ラオス人民民主共和国 (一般情報)

PT : ポルトガル (手数料)

調査手数料 (オーストリア特許庁、カナダ知的所有権庁、欧州特許庁、インド特許庁、ウクライナ経済開発通商省知的所有権部、国立工業所有権機関 (チリ)、北欧特許機構、スペイン特許

商標庁、トルコ特許商標庁(Turkpatent)、スウェーデン特許登録庁、米国特許商標庁(USPTO)、
ヴィシエグラード特許機構)

PCT-SAFE 更新

PCT-SAFE クライアントソフトウェアの新しいバージョンのリリース

PCT-SAFEクライアントソフトウェアの新しいバージョン（2017年10月1日付version3.51.07
9.255）がご利用可能になりました。次のサイトからダウンロードできます。

http://www.wipo.int/pct-safe/en/download/download_client.html

この新しいバージョンの詳細は上記ウェブサイトの“Release notes”及び“What’s new”から
ご覧いただけます。

PATENTSCOPE 検索システム

PATENTSCOPE での新しい国内特許コレクションの利用

ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、マレーシア、フィリピン及びタイの国
内特許コレクションが、PATENTSCOPE 検索システムでご利用いただけるようになりました。
これにより 51 の国内/広域官庁のデータが PATENTSCOPE で利用可能になり、収録数は合計
で 6,500 万件以上になりました。

本コレクションは以下のリンク先からご利用いただけます。

<http://patentscope.wipo.int/search/en/advancedSearch.jsf>

PATENTSCOPE 顧客満足度調査

PATENTSCOPE 検索システムに関する顧客満足度を評価するために、WIPOはPATENTSCOPE
ユーザの満足度に関するアンケート調査を開始しました。アンケート調査は以下のリンク先か
らご利用いただけます。

<https://www3.wipo.int/opinio/s?s=10302>

ご回答に必要な時間は数分程度ですので、本調査にご参加いただき貴重なご意見を提供してく
ださるようお願いいたします。本調査は 2017 年 12 月 1 日まで実施しております。

パワーポイントプレゼンテーション

2016年12月から2017年10月の期間に、PATENTSCOPE検索システムに関する以下のウェビナ
ーが提供されました。

- 2016年の回顧及び2017年の予定（2016年12月）
- 化学構造検索（2017年1月）
- PATENTSCOPEで利用可能な様々な機能の概要（2017年2月）
- PATENTSCOPEでの複雑な検索式の作成方法（2017年3月）
- PATENTSCOPEで利用可能な結果一覧の概要説明及び翻訳と分析ツールの実演
（2017年4月）

- WIPOにおいて開発されたCLIR機能の利用方法（2017年5月）
- PATENTSCOPEで提供される閲覧メニューの紹介（2017年6月）
- PATENTSCOPEで利用可能な翻訳ツールの紹介（2017年7月）
- PATENTSCOPE検索システムでのIPCの有効活用方法（2017年8月）
- PATENTSCOPEでの化学構造検索の実演（2017年9月）
- 初心者が関連する検索式を実行するのに役立つPATENTSCOPEの機能（2017年10月）

これらのウェビナーで使用されたパワーポイントのスライドは、下記のリンク先からご利用いただけます。

<http://www.wipo.int/patentscope/en/webinar/>

PATENTSCOPE検索システムに関するウェビナーは今後も実施されます。PCTセミナーカレンダー末尾にあるPCTウェビナーの一覧をご参照ください。

WIPO 翻訳：対応言語の拡大

特許文献のためのWIPOの“人工知能”に基づいた翻訳ツール（“WIPO翻訳”）が、10言語でご利用可能になりました。WIPOは、PCTの公式言語であるアラビア語、独語、スペイン語、仏語、韓国語、日本語、ポルトガル語、ロシア語及び中国語のいずれかで記載された全ての特許文献を英語に、また、英語からそれらの言語のいずれかに翻訳するための当該新技术を“教育”してきました。

WIPO翻訳は、非常に技術的な特許文献を、一般的な使用により近い様式、構文で第2言語へ翻訳する、最先端のニューラル機械翻訳技術を使用しています。これは、過去の技術で開発された特許翻訳ツールや人工知能を同様に利用する他のウェブベースの製品をはるかに凌ぐものです。

WIPO 翻訳は、膨大な特許文章を用いて専門的に教育されており、発明の特徴点に応じて翻訳する“分野－認識－技術”を含みます。本ツールは、国際特許分類を基にした32の技術分野を組み込んでおり、当該システムが翻訳プロセスにおいて不明確な表現を除外することを可能にします。当該技術は、特定の文章を翻訳する際、技術分野を考慮することにより、より正確な翻訳を可能にします。これは特許翻訳の世界において唯一の技術です。

PATENTSCOPE のデータベースはこの新技术を完全に組み込んでいるため（比較目的のため、以前の統計に基づいた翻訳技術も引き続きご利用いただけます）、PATENTSCOPE によって検索された特許文献の翻訳がより容易に利用可能になります。

PATENTSCOPE で公開されたPCT出願 (<https://patentscope.wipo.int>) の翻訳を実行するためには、該当する公開公報のページ上にある“Machine translation（自動翻訳）”をクリックし、“WIPO Translate”を選び、翻訳を希望する言語を選択することができます。または、以下のリンク先から、WIPO 翻訳のページへ行き、特許文献から文章をカットアンドペーストし、言語の組み合わせと技術分野を選択することで利用できます。

<https://patentscope.wipo.int/translate/translate.jsf?interfaceLanguage=en>

実務アドバイス

国際出願のライセンスの利用可能性の表示

Q: 当方はある大学の機械工学科に勤務しており、当学科で新しい機器を開発したので PCT 出願の提出を予定しております。我々の関心分野におけるさらなる研究開発のための資金を調達するため、ライセンスングすることで我々の発明を産業界で利用可能にしたいと考えています。本発明をライセンスングにより利用可能とすることを希望する旨を出願のどこかに表示することは可能でしょうか？またその場合、ライセンスングの利用可能性を表示する国を特定することは可能でしょうか？

A: 2012 年 1 月から、特定の PCT 出願に含まれる発明をライセンスングを通じて関心のある者へ利用可能とする出願人の意向を、PATENTSCOPE 上で公開することを国際事務局 (IB) へ請求することが可能になりました。この無料のサービスは、ライセンスングを促進する制度を設けるため、2010 年 6 月の PCT 作業部会による勧告を受け導入されました。

そのような情報の公開を希望する場合、“ライセンスングによる利用可能性の表示請求”を直接 IB へ送付すべきです。送付のための最善の方法は以下のとおりです：

- ePCT のアクション機能 “ライセンスングによる利用可能性の表示請求” の利用、又は
- 様式 PCT/IB/382 の “ライセンスング目的の利用可能性の表示請求” の提出。
当該様式は、以下のリンク先からご利用可能です：

http://www.wipo.int/pct/en/forms/ib/editable/ed_ib382.pdf

また、要求される情報の全てが含まれていれば、ライセンスングによる利用可能性の表示請求を書簡の形式で IB へ提出することも可能です。好ましくは、“ライセンスングによる利用可能性の表示請求”である旨を書簡において明確に示すべきです。

ライセンスングによる利用可能性の表示請求を提出する際、希望により以下を行うことが可能です：

- 請求項に係る発明を全ての PCT 締約国においてライセンスングする意向がある旨を明記する、若しくは請求項に係る発明のライセンスングを希望する締約国を明記する、
- 請求項に係る発明をライセンサーによる独占的又は非独占的な使用のためにライセンスングするのか否かを明確にする、及び
- ライセンスングの追加条件を含む。

また、ライセンスング契約に関心がある場合に連絡を取るべき担当者の詳細な連絡先を含むべきです。担当者は必ずしも該当する国際出願に記載された出願人や代理人である必要はありません。しかしながら、ライセンスングによる利用可能性の表示請求自体は、国際出願の代理人又は共通の代表者により署名されなければなりません。

ライセンスングによる利用可能性の表示請求は、国際出願日以降、優先日から 30 ヶ月の満了までいつでも IB へ送付可能です。出願時にライセンスングによる利用可能性の表示請求の送付を希望する場合、その旨を適切に表示すべきです。ePCT 出願を利用して出願する場合、最も簡単な方法は関連する ePCT アクション機能を利用することです。当該機能は、必要な全ての情報の入力を促すとともに、PATENTSCOPE 上に掲載される請求に関する要件を満たす、ライセンスングによる利用可能性の表示請求を自動的に表示します。PCT-SAFE を利用して出願する場合、“Accompanying items” タブの “Other” を選択し、“Licensing availability

request”と名前を付けて、ライセンスによる利用可能性の表示請求を国際出願に添付すべきです。

ライセンスによる利用可能性の表示請求の提出を希望する時点で、すでに国際出願が提出されている場合には、該当の様式又は書簡が正しいファイルに保有されることを確実にするため、IBが出願の手続を開始するまで待つ必要があるでしょう。

ライセンスに関する請求を複数提出可能な点、また、優先日から30ヶ月の満了までは、提出済みの請求を変更可能な点にご留意ください。複数の請求を提出する場合、又は既存の請求を変更する場合、貴殿の最新の請求は、要請又は変更についての完全な情報を含む、常に自己完結した書類であることを確実にする必要があります。また国際段階の間いつでも、又は国内段階の間であっても、PATENTSCOPEからライセンスの表示を削除するようIBへ要請することも可能です。削除した後でも、ライセンスの請求と当該通信は、PATENTSCOPEの“Related Documents（関連書類）”タブから利用可能な履歴ファイルの一部として残ります。

ライセンスの利用可能性を非常に早期の段階で知らせたい場合には、PCT第21条(2)(b)の規定に従い、早期の国際公開請求の提出を検討可能なことにご留意ください。

ライセンスの表示は、特定の出願に関する書誌情報（PATENTSCOPE上の“Bibliographic data（書誌情報）”タブから）に反映されますが、公開された国際出願自体の一部にはなりません。書誌情報ページのライセンスに関する説明に、ライセンスによる利用可能性の表示請求自体の内容へのリンクが張られており、第三者が当該内容に直接アクセスすることができます。ライセンスによる利用可能性の表示請求は、別個の文書としてPATENTSCOPE上の“Documents（書類）”タブからもご利用可能です。

請求項に係る発明のライセンス目的の利用可能性に関する表示を出願人が提出した国際出願の検索を希望する潜在的なライセンサーは、以下のリンク先から、“Field Combination（構造化検索）”へ行き、提示される“ライセンスによる利用可能性のボックス”をチェックしてご利用ください。

<http://www.wipo.int/patentscope/search/en/structuredSearch.jsf>

当該検索基準は、組み合わせ/複数フィールド検索でも利用可能であるため、第三者は、請求項に係る発明が特定の技術分野に関連する、ライセンスの情報を含む国際出願を検索することができます。RSSフィードを登録することも可能です。登録すれば、検索結果は、ライセンス情報を含む新たなPCT出願が公開される毎週木曜日にRSSリーダーにて自動的に更新されます。

以下の情報の一覧

PCTセミナーカレンダー、PCTウェビナー、PCT手数料表、PCT締約国一覧